

大会・会議等出席報告書

2019年2月4日

富山アラートライオンズクラブ

大会・会議等の名称	2018-2019年度ライオンズクラブ全国アラートフォーラム in 神戸		
開催日時	2019年2月3日(日) 13:00~17:00		
主催・担当団体	335 複合地区ガバナー協議会		
配布資料	添付の通り	参加者総数	464名
当クラブの参加者	会長：笹畑孝生	会計：石割雅弘	GST委員長：廣田勉
	副会長：林 巖		
大会・会議の内容等の報告	<p>基調講演・事例発表の大会を通じての要点・感想を次の通り報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害に関して、災害発生後の対応のために必要なことは、災害発生以前の事前準備を十分に行っておくことが最も重要であることを実感した。 2. 災害発生以前の準備として行うべきことは、 <ol style="list-style-type: none"> ① 行政との連携：334D地区を統括するCBが対象とする行政区が3県あり、それぞれの対応が必要となることが予想される。なお、R単位、Z単位での対応も考えられるが、事務局機能が弱いこと、また、小さな単位では、被災地としての対応に苦慮することから支援する手が小さくなることが予想される。 ② LCにおける災害対応マニュアルを作成しておく。(緊急時には混乱が生じるので、事前に準備しておくことが肝要)：地区内での災害発生対応・地区外(国内外)での災害発生対応などに区分して(同様にクラブ内外対応も) 3. 具体的な要点 <ul style="list-style-type: none"> ○ 334D地区としてアラートチームが必要である。現に、能登半島地震、福井での水害などを経験している。過去には、大地震も福井、新潟で発生している。 ○ 地区と3県知事会との協定が望ましい。 社福協(県・市)との連携、民間団体との協働 行政も経験が少ない。事前の訓練が必要。 ○ 危機管理のきっかけをLCがリードする。 		
事例発表からの要点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区への情報発信(問い合わせへの対応が膨大だった。) ○ SNSの活用、多くの方(一般の方)の反応があった。 ○ 災害対策本部(場所)を確保した(長期になった。) ○ 実績把握(事後の参考にするため。多忙でもデータ残す。) 		

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社福協が中心となって全体の調整をしていた。(ボランティアセンターの運営) ○ 資金、物資の流れを的確に管理する体制必要。 ○ 北海道の事例から蓄電池・発電機(家庭用?)が必要。
その他参考事項	<p>登録料：当日 3,000 円、交流会 5,000 円</p> <p>フォーラムの前日には、交流会が開催され、全国の会員との情報交換の貴重な機会を得た。</p>
添付書類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当日レジュメ「2018-2019 年度ライオンズクラブ全国アラートフォーラム in 神戸」 2. 参加者名簿 3. 基調講演資料「災害ボランティア、ライオンズクラブ国際協会さまとの協働」(ひょうごボランティアプラザ所長代理 鬼本英太郎) 4. 開催案内(2018年11月29日付) <p>以上</p>

報告者：第一副会長 林 巖